

あさひなの米づくり情報

「斑点米カメムシ類」の防除を徹底しましょう！

防除薬剤

「粉剤」の場合（使用量 各3kg/10a）

スタークル粉剤 DL・トレボン粉剤 DL 等

※水田畦畔も含めて防除しましょう。
（周辺への飛散には十分注意）

「粒剤」の場合

スタークル 1 キロH 粒剤 等

※粒剤は浅水（水深 3cm 程度）で散布してください。
（深水は十分な効果が得られない場合があります）

**薬剤防除は穂揃期（出穂 95%）と
その 7~10 日後の 2 回防除です**

（粒剤の場合は穂揃期に 1 回 + 必要に応じて補完防除）

注意報発令
発生量多い

7/19「斑点米カメムシ類」すくい取り調査を実施
管内生育調査圃周辺の雑草地において、すくい取りを行いました。
発生量は多い傾向（前年対比 147%）にあり、出穂に伴い圃場内に飛び込むことが予想されますので防除徹底に努めてください。

「環境保全米」栽培

◎防除薬剤の 2 剤目は「トレボン剤」ですので、

スタークル剤（1 回）+ トレボン剤（1 回）

の 2 回体系防除となります。

※ 同一薬剤（スタークル+スタークル、又はトレボン+トレボン）の使用は出来ません。

※ 無人ヘリ防除はスタークル液剤を散布します。前後の地上防除はトレボン剤を使用してください。

◇ 防除例 ◇

例	1 回目	2 回目
①	スタークル粉剤 DL	トレボン粉剤 DL
②	トレボン粉剤 DL	スタークル粉剤 DL
③	トレボン粉剤 DL	無人ヘリ散布
④	無人ヘリ散布	トレボン粉剤 DL
⑤	スタークル 1 キロH 粒剤	なし 又は トレボン粉剤 DL

☆H29.無人ヘリ防除（カメムシ）散布日程表

散布薬剤：スタークル液剤 10 8 倍液 800ml/10a

月 日	散 布 地 区 名
8/3（木）	穀田、原、大童、今泉、明石、西成田、一・二・三ノ関、志戸田
8/4（金）	大亀、一・二・三ノ関、志戸田、下草、北目、砂金沢、大崎、太田、鶴巣山田、小鶴沢
8/5（土）	大平上・中・下、舞野、蒜袋、相川、桧和田、報恩寺、三ヶ内、清水、前河原、荒井
8/6（日）	舞野、相川、報恩寺、三ヶ内、金取北、沢渡、八志田、反町上・中・下
8/7（月）	東成田、羽生、山崎、味明、不来内、川内
8/8（火）	粕川地区
8/9（水）	大松沢地区
8/10（木）	大森・駒場・蕨崎・衡東
8/11（金）	大瓜上・大瓜下・松原・衡上
8/12（土）	衡中・衡下・奥田
8/13（日）	難波・松坂

8/14（月）、8/15（火）は予備日となります。

※8月3日~6日は外部委託により無人ヘリの機数を増やして散布します。

※雨天・強風等により予定が変更になる場合があります。

出穂時期を把握し、上記日程表を参考に

無人ヘリ + 前半・後半の地上防除

の 2 回防除を徹底しましょう！

カメムシ防除は地域一斉に実施しましょう！

管内出穂期（40~50%出穂）8月3日頃（平年8月5日）

☆あさひくんからのお願い☆

“田んぼの生き物調査にご協力願います。”

今年も環境保全米運動の一環として「2017 年度田んぼの生き物調査票」（7月20日に配布済み）に必要事項をご記入の上、提出願います。

◎提出方法 8月下旬に「栽培履歴簿」を回収しますので、一緒に袋に入れて提出願います。



出穂前後の水管理

出穂前・後 25 日間は、稲が最も多くの水を必要とする大切な時期です。湛水管理を実施しましょう。

◎ 落水時期が早いと被害粒（心白米・腹白米等）の発生を増大させてしまいます。（落水の適期は出穂後 30 日頃）

◎ 出穂の 25 日前~出穂後 25 日の間に水田の土が乾きすぎると土の中のカドミウムが吸収されやすくなります。

高温登熟

登熟期間が異常高温で推移する場合、乳白米発生が助長されます。【異常高温の目安：出穂後 20 日間の最低気温の平均が 23℃以上】異常高温時は、夜間の落水も必要となります。（日中温まった水を流す）

いもち病 圃場を見回しましょう。 ・ブラシン粉剤 DL

病斑を発見した場合は早期に薬剤防除を実施。 ・カスラブサイド粉剤 DL 等